

# 多高通信

第131号 平成28年6月27日発行



さどく ゆたかに たくましく  
宮城県多賀城高等学校

## 1学年 課題研究ガイダンス

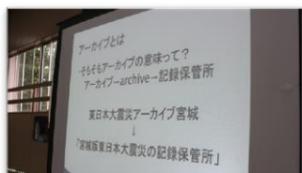
◎東北大学災害科学国際研究所 久利美和先生  
課題研究の進め方について

5月26日、秋から本格的にスタートする課題研究の進め方について、東北大学の久利先生にお話ししていただきました。課題研究を進めるにあたって、テーマ設定や実験・調査の方法、文献検索の方法などについて教えていただき、生徒たちはメモを取りながら久利先生のお話を熱心に聞いていました。



◎宮城県図書館  
東日本大震災アーカイブ宮城について

5月31日、東日本大震災アーカイブ宮城の紹介と利用方法について、宮城県図書館の方々にお話ししていただきました。デジタルアーカイブは課題研究の基礎データとして資料収集の際に活用できるということとや、震災の記憶の風化を防ぎ、防災対策などにも活用されていることを学びました。



## 千年希望の丘植樹祭

5月28日、岩沼市の長谷釜地区で千年希望の丘植樹祭が行われ、本校から有志のボランティアが参加しました。10万本の苗木を1万人で植える大規模なイベントで、日本全国から多数のボランティア

の方が参加しました。  
■2年1組 鈴木 唯

(七ヶ浜中出身)

植樹祭には約1万人の方々が集まり、大規模なボランティア活動となりました。植樹する場所が斜面だったのですが、植樹作業や藁を敷く作業が意外と重労働で大変でした。それでも、めったにできない経験をこのボランティアで行うことができ、参加してよかったと思える経験になりました。私たちの植えた木がすくすくと育ち、将来防潮林として私たちを守ってくれることを願っています。



## イオン多賀城店ふれあい祭り

5月29日、イオン多賀城店からご招待を受け、吹奏楽部がミニコンサートを行いました。エスカレーターホールの会場は、演奏前からお客さんでいっぱいとなりました。30分余りの演奏を、午前・午後の2回行いましたが、どちらの回も多くの買い物客が足を止めてくださいました。

■吹奏楽部より

このコンサートでは熊本の震災への募金活動も行い、多くのご協力もいただきました。集まった募金は多賀城高校の募金活動として熊本へお送りする予定です。私たちの演奏で、少しでも生活に潤いと音楽の楽しさを感じていただければと思います。今後いろいろな場所で演奏していきたいと思っております。応援よろしくお願ひします。



多くの方に聴いて頂きました！

## 東日本大震災5周年 復興フォーラム

復興フォーラム

6月6日、東京都内幸町のイイノホールで行われた、復興庁主催「東日本大震災5周年復興フォーラム」新たなステージ復興・創生へ」に参加してきました。このフォーラムは、東日本大震災から5年の節目を迎えたこの機会に、震災の経験・教訓を広く共有し、復興の現状を国内外に情報発信することを目的として開催されたものです。

本校は、高校生として唯一ブース展示とミニプレゼンテーションの時間をいただき、本校の防災・減災学習の取り組みを紹介する機会を得ることが出

来ました。ブースには安倍総理大臣、高木復興大臣、長島復興副大臣などにおいでいただき、私たちの活動を説明することができました。特に安倍総理には多くの時間を取っていただき、学校の防災・減災教育の説明のほかに、私たちの将来の夢などについても話すことができました。

総理からは「震災の経験、防災学習の機会を十分に活かして今後も頑張ってください」との励ましのお言葉をいただきました。

ミニプレゼンテーションでは、多くの参加者の前で本校の特色ある活動を話すことができ、プレゼンを聞いていただいたいくつかの団体や企業などの方には、今後来校していただけて講義をいただいたり、ご助言をいただいたりすることを約束していただきました。

安倍首相との記念撮影



長島復興副大臣との意見交換



■2年2組 佐藤千咲 (利府西中出身)

海外からの旅行者等に被災地を案内する活動を紹介したところ、大変興味を持っていただきました。このように国内だけではなく、国外にも発信していくことが求められていることを改めて実感しました。

■1年7組 阿部大和 (気仙沼市立小泉中出身)

安倍総理に、気仙沼で被災した経験や将来は地元に戻って気仙沼の復興に頑張りたいことを伝えると、是非地元の復興に若い力を活かして欲しいとの励ましを受けました。とても緊張した時間でしたが、災害科学科の1回生として頑張っていることと決意を新たにしました。

「くらしと安全」特別授業

## ライフセー弗里ュックサック

6月8日、「くらしと安全A」の特別授業として、一般社団法人DSC事業部長の宮坂龍彦氏をお招きし、防災リュックについて、その開発経緯と機能を学びました。

宮坂さんは、震災直後に東松島市の野蒜海岸付近に入り、行方不明者の捜索やボランティアに携わったそうです。その時の経験を話し、一人でも多くの命を守りたいとの思いから防災リュックの開発に



至った話を聞きました。災害時に目立つオレンジ色のリュックで、長時間仰向けのまま水に浮いていることが出来るそうです。中には非常用の水や携帯食も入っています。今後本校ではこのリュックの使い勝手や中身などについて考えていきたいと思えます。

## 祝 山岳男子・女子テニス インターハイ出場!

山岳部副部長

3年4組 川原 太地

(岩切中出身)



インターハイに出るからには、そこでも上位入賞を狙っていきたくと考えています。そのために、週末の訓練登山を重ね、学校での筋トレや走り込み、負荷訓練などで体力を付け、万全の態勢で臨みたいと思っています。応援よろしくお願ひします!

■3年1組 齋藤千紗 (しらかし台中出身)

インターハイという大きな舞台に立つことができ、本当に嬉しいです。総体の結果は第3位でしたが、最後まであきらめず戦ったことでインターハイへの切符を手に入れたと思うので、インターハイでもその気持ちを忘れずに戦いたいと思います。対戦する選手は強敵ばかりで簡単には勝つことはできないと思いますが、1ポイントでも多く取り1秒でも長くコートに立っていられるよう、応援してくれる他の部員の分まで頑張りたいと思います。



## 熊本地震 募金のご協力

ありがとうございます!

駅前やコンサートなどで集めた募金総額は四十二万二千円となりました。このうち三十万円を熊本県立東稜高校に、残りの募金は7月に生徒が訪問する学校などに、皆さんの暖かいお気持ちと共に届けます。本当にありがとうございました。

